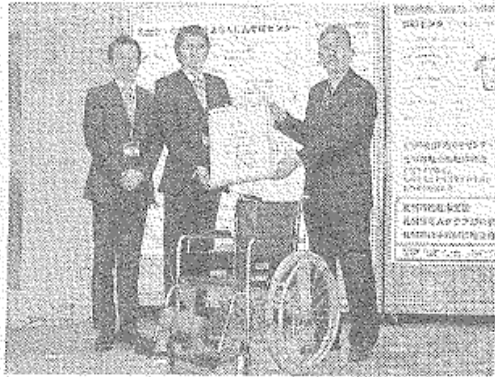


左から山下委員長、向平支部長、末廣常務



ヤナセ労働組合（山下雅弘委員長）は、社会貢献活動の一環として札幌市社会福祉協議会に車いす1台を贈呈した。アルミ缶のリングプル回収運動を展開し、収益金を購入費用に充当した。今後、労組支部エリアにある地域の社

ヤナセ労組 リングプル回収活動 札幌福祉協に車いす寄贈

会福祉協議会に寄贈する。

贈呈式は、山下委員長や向

平豪成札幌支部長らが市内中央区の同福祉協議会を訪れ、1階ロビーで実施。山下委員長は「札幌支部労組からリングプル回収が始まり、全国に広がった。貴福祉協議会の活動に車いすがお役に立つことは大きな喜び」とあいさつした。同福祉協議会の末廣隆典常務は「皆さんの真心に感謝したい」と述べた。

2005年10月に札幌で車いす寄贈を目的にリングプル回収運動が始まり、今では全組合員約4千人やヤナセグループの従業員が協力。リングプル1個は0.5gで、510kgで車いす1台と交換できるという。

「自動車新聞」掲載記事

Information

「車いす」第2号車を寄贈

ヤナセ労働組合 中央執行委員長 山下 雅弘

労働組合は、社会貢献の一環として車いすの寄贈を目的にリングプルを収集しています。2008年12月に1台目を日本自動車会館へ寄贈し、早くも2台目を3月3日に札幌市社会福祉協議会へ寄贈しました。今後もヤナセが地域社会や住民の皆さまに愛されるよう、支部が所在している全国の社会福祉協議会へ寄贈します。同協議会からは感謝状とともに「車いす寄贈を全国制覇してほしい」という激励のお言葉をいただきました。これは地道な活動を積み重ねた結果です。今後とも活動へのご協力をお願いします！



◀車いすには「ヤナセワークスユニオン」と「YANASE」のステッカーを貼付

◀贈呈式の模様。

左から、山下委員長、札幌支店販売課 向平 豪成さん（札幌支部長）、札幌市社会福祉協議会 末廣常務

（写真提供：日刊自動車新聞社）

「和苑」掲載記事